

しえん
SHIEN
No.52

2025 8/1

支縁



<http://kisokobe.sub.jp/>

神戸国際支縁機構(KISO)季刊誌

【発行人】 岩 村 義 雄 〈携帯 070-5045-7127〉
【事務局】 〒655-0049 神戸市垂水区狩口台5-1-101
Tel(078)782-9697 Fax(078)784-2939
E-mail:kiso@mbe.nifty.com

【石巻支所】樋 口 多恵子
〒986-0834 宮城県石巻市門脇町2-5-7

【熊本支部】大 島 健二郎
〒862-0939 熊本市東区長嶺南4-4-27

【千葉支部】嶋 田 博 信
〒294-0234 千葉県館山市布良303

年4回 2月、5月、8月、11月

購読料 一部320円+送料80円(年ごめ 1,600円)

全国キリスト教障がい者団体協議会

2025年7月7-8日、ANA

クラウンプラザ神戸ホテルのラベンダーホールで、「全国キリスト教障がい者団体協議会」主催の総会と講演がありました。岩村義雄は講師としてミャンマーにおける2021年の国軍によるクーデター後の実情、被災現場、支縁の在り方を話しました。軍事クーデターにより、戦火を逃れた国内避難民は320万人です。国土の3分の1しか軍事政権は掌握できていません。昨年2月から徴兵制が敷かれました。イスラエル政権に負けず劣らず、イスラーム教のロヒンギャ民族に対するジェノサイド「集団殺害」、民族浄化、生活破壊が繰り返されています。ミャンマーの最大の被災地であるマンダレーに外国からの支縁は届いていない。



キ障協で120分話す岩村義雄

2021年2月1日の国軍クーデターにより、ミャンマーでは多くの無辜の民が殺され、投獄されました。2025年3月28日、古今未曾有の大地震⁽²⁾(マグニチュード7.7)により、古都マンダレーは瓦解しました。90パーセントが仏教徒の国ではイスラーム教徒、キリスト教徒は少数派です。とりわけイスラーム教徒には復旧、復興、再建について国は後回しです。日本からボランティアに訪れたイスラーム教マンダレーのポウオー村に「公助」はありませんでした。

私たち神戸国際支縁機構の岩村と、「カヨ子基金」代表佐々木美和は、家族、住居、隣人を失った村民に笑顔で寄り添います。村はイスラーム教徒ばかりです。イスラームの人たちは温かいです。一方、軍政はこわいです。そんなミャンマーで何もしたいことができていません。「しゃべくりより現場での実践」、「小さくされた人々」に仕える働きです。

ボランティアは戦争で父親を失った孤児、何もかも無に帰した被災地で無力感が漂う「貧しい人」に「福音」を携え、寄り添います(イザヤ61:1)。

「無知」は罪です。生きとし生けるものが等しく生きるはずのいのちが戦争、貧困、病気などによって脅かされるならば出て行かねばなりません。「小さくされた人々」への「無関心」の壁があります。「この最も小さな者の一人にできなかったのは、すなわち、私にできなかったの」とキリストは言われました。



ミャンマー国ヤンゴン空港に降り立つ。
2025年6月14日(土) 午前10時35分。

ていませ。古都で観光地であるマンダレーの有名な寺院も軒並み崩壊していました。靴などだれもはいていませんでした。岩村は現地で「はだしのアングル」と呼ばれています。ボランティアで仕えるのは、獄に投獄されていたり、貧しさから脱却できない人々、障がい者、被差別部落だけではありません。差別された生に、在日朝鮮人、アイヌ難民、琉球や、難民がいらっ



ティンティンモンさん(41歳)のうしろの場所に「カヨコ・チルドレン・ホーム」の建設決定

しゃいます。無関心であるわけにはいきません。ごいっしょに「みんなちがっていい」国にしましょう。手を携えて世を変えていくのを手伝ってください。

(1)ホームページ「この最も小さな者の一人にしたのは、すなわち私にした」牧師の拙論#78(全国キリスト教障がい者団体協議会ANAクラウンプラザホテル神戸、2025年)。
(2)東北大学「超巨大地震に共通する余震活動」プレスリリース(2022年6月13日3頁)。
過去最大の地震(1762年チッタゴン・ラカイン地震)をM8.8と明記。



ヤマザキ

**世界のパン
ヤマザキ**



Otsuka

株式会社 大塚製薬工場

〒772-8601
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115
TEL 088-685-1151(代表)

庄司会計事務所

税理士 庄司慈明
税理士 齋藤 茂

石巻市蛇田字中埠 21
0225-93-8743



想いをかたちに 未来へつなぐ

TAKENAKA

竹中工務店

〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1

だれでもが「イネ」をつくれる国に変えよう

熊本支部長 大島健二郎

自民党の農林族の議員は、お百姓さんのコメをつくる意欲を削いできました。減反政策は50年以上近く続いています。減反とはコメの生産を減らして、米価を上げてきた政策です。私たち消費者を苦しめてきました。コメの値段が高く、手が届きません。一時的に「備蓄米」をばらまいても、農に魅力がありません。

私たち素人は、東北ポランティアでは「復幸米」を15回。ここ球磨川の氾濫した地では、5回目の「田植え」に園児たちと取り組んで、被災地の地域に根を下ろしています。5反以上でない農地が買えないシステ



人吉新聞(2025年6月6日付)



『広報さがら』(2025年7月号8頁)

ム。そんな広い農地ならば、2千万円以上の資金がなければ農業機械を買えません。「農」に転職できない制度から脱皮すべきです。日本は食糧、農家、地方切り捨てのために滅びます。

「ピーちゃん」USHAKUS

7月1日、人吉市なつめ保育園(緒方眞喜代理理事長)の駐車場でとんぴを発見。勢いよく飛び立たないので朝日温泉(鳥越肖男氏経営)で知り合った獣医の黒木征二先生に連絡をとります。診察してくださるとの返事をいただきました。病院へ連れて行きます。黒木先生はなつめ保育園卒園の2回生でした。緒方園長が「黒木君に診てもらったら大丈夫」と言われた時には、思わず口元が緩みました。たまたま来ていた病院の大塚獣医の子どもさんは好奇心から見にくるもののこわくて泣き出しました。

回復のために注射を打ってもらいました。水を口から吐きました。相良への帰途、「ピーヒョロロ」と甲高い声で何度も鳴き、元気になりました。村上本部長も水を替えたり、世話をしました。その夜は、神戸国際支縁機構のハイエースで安静にして私たちと一緒に過ごします。翌日の7月1日、地域振興課で黒木先生と待ち合わせし、行政が預かることになりました。短い期間でしたが、家族として愛着がわき、大きな目と向かい合えるようになる別れの段になると、寂しく、感傷的になりました。



とんぴを診察する黒木征二獣医

『真平家物語』鬼山御前(3) (第十五回)

熊本県緒方医院院長 緒方 俊一郎

鬼山御前は宗治との生活が楽しくなるにつれて過去の悲しい思い出にふけた。

元暦元年(一一八五)一の谷で父が戦死し、壇ノ浦より豊後を経て日向へ逃げ惑う中、日向の国今佐村で力尽きた母を亡くした。

鬼山御前は保口岳に登り、遙か東方の日向に向かって父母を思い涙したと伝えられている(保口山の一部が「日向荘」と呼ばれているのは鬼山御前が日向を向いて想いに耽ったことに由来する)。

このことについて那須宗治の末孫である那須金兵衛氏は「鬼山御前の石碑に「日向国中野郡今佐村」とあるのは、鬼山御前が数か月暮らした土地で、父や母の骨を埋めた故郷のことです」と述べていたという。金兵衛氏は、「鬼山御前は夫婦の仲もよく、保口の現在の那須弘美さんの屋敷に住んでいたもので、屋敷の先に鬼山御前の使い水や洗濯水が残っていますよ」と、また「那須弘美氏は那須与一の直系で、那須金兵衛氏や那須義行氏はその分家でもある。」と話していたという。

那須弘美氏は鬼山御前について「とても美人で乳の出が多かった。その上乳房が一尺くらいあったそう、近所の貰い乳にも喜んで与え、多くの子供を育てたそうです」。保口の人々は鬼山御前の徳を慕って社を建てて祀り、毎年十月一日には祭礼を行ってきたという。

また、乳の神様として、乳の出の悪い母親は参拝すると乳の出がよくなるという、お参りして乳の出がよくなった人はお礼として幟を寄進している、という。

ところで、弟の久茂は岩奥の腹に居住していた。ある時下岳村の地頭係のために矢山岳より岩奥の方を眺めると白い布が目についた。地頭は川伝いに彼の住居を訪ねると、久茂は敷居を枕に昼寝の最中であつた。地頭は刀を抜いて久茂の首を切ってしまった。鬼山御前はこれを知き、那須与一を呼び寄せ、仇を取ると騒いだ、果たしえなかった。

肥後国誌に「那須与一の一族に鬼山御前という女あり、岩奥に居住してより人口繁栄して」と記載がある。元平家の一族であった鬼山御前は与市の嫡男宗治の妻となり、源氏の末孫となった。

岩奥の古老に「昼寝するなら敷居を枕にして寝るな」と言い伝えられているのは、この故事によるものである。



TAMANOHADA

代表取締役 三木 晴信

〒130-0021 東京都墨田区緑 3-8-12
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124
URL: www.tamanohada.co.jp

近き良きパートナーを目指して
設計 住宅・教会・福祉施設など
監理 一級建築士 南 俊治
□ 神戸市中央区八幡通4-2-10-201
□ K: 090-6983-4377
□ E-mail: CQN05405@nifty.com
南俊治建築研究所
https://www.minami-architect.com

弁護士法人
芦屋西宮市民法律事務所



津久井 進

日弁連災害復興支援委員会委員長
兵庫県弁護士会前会長

TEL: 0798-68-3161

ミヨシ共栄株式会社

東京都墨田区緑 3 丁目8番12号

みんなががいい

本部長 村上裕隆

大阪府鴻池から当てもなく歩かれました。線路伝いに、駅のベンチで野宿し、名古屋に足向くま、気のむくまま仙台駅。そこが最終ではなく、宮城県石巻市渡波。冬は雪が積もり、海の風が襟から入って来ます。漁師町の人情に触れます。ウミネコがミャーオと鳴く、かつて塩田であった塩富町、松原町、黄金浜などが生活圏です。田口政夫さん(84歳)は渡波の秋葉神社の軒下に行けば、お会いできました。(『牡鹿新聞』(2025年7月4日付)。5月26日以降、仙台に移動されました。あの東日本大震災の時、避難所になった伊去波夜和氣の命神社の温かい思いやりがあります。大國龍笙宮司(79歳)は、「みんながつていい」と言われます。5月5日は、「どんと祭」の開催日でした。私たちは田起のために参加できず、終わった時間帯に顔を出しました。地元だけでなく、横浜から毎年15人ほどが13年間、通われて氣勢を上げておられました。お世話される地元の女性たちがいます。はつぴなど洗濯して干したり奉仕されていました。当時幼稚園児(今や中2、小4、小2)のトロトロ層づくり、田植え、稲刈り、天日干し、脱穀や収穫祭で一緒にした坂本春菜さん(33歳)がおられました。2週間後、園児たちとトロトロ層づくり、田植えの前にさやこ欄宜に祝詞をあげていただきました。



パンとご飯 どちらが好きか

本部長 村上裕隆

園児(宮城県石巻市渡波)たちは一斉に走って、田んぼをかけめぐります。土が水し

ぶきといっしょに顔、服、友だちにかかります。だれも怒ったりするどころか、笑っています。第160回目の渡波訪問(2025年6月18-22日)の際、地元の新聞には、2025年現在、地球上で武力紛争が約60ヶ所で行われていると報じていました。相手を許さないのです。ここでは、みんな笑っています。コメをつくれれば怒ったりしません。和が広がります。コメづくりをしなくなったせいでしょか。「コメが店頭になくなってしまった」「もうだれもコメをつくっていない」「コメが高すぎる」と日本中が大騒ぎをしています。政治家が「コメ買ったことがない」と言うのを聞いて、みんな怒っていました。和を大切にできた日本の良さを忘れてしまっています。子どもたちはそんな重苦しい空気を吹き飛ばす勢いがありました。やはりコメを食べましょう。



『牡鹿新聞』(2025年5月23日付)

ベトナム人との友好



神戸市駒ヶ林公園

6月1日(日)、ベトナム人の親子フェスティバルに神戸国際支縁機構も招かれました。ベトナム戦争「1964-1973」からすでに3世代の時代です。日本に住む外国人は376万人です。3年連続で増えています。とりわけベトナム人は約63万人です。神戸市はベトナム人のおよそ8千人おられます。兵庫県全体では約3万人です。長田区の駒ヶ林公園にベトナム音楽があふれかえりました。アメリカ軍を打ち負かした唯一の国だからではありません。平和を喜ぶ熱気、勢い、笑いがあふれました。ベトナム人の僧侶たちの働きも活気にあふれています。



『石巻日日新聞』(2025年5月24日付)

31年ぶり、ゼロから翻訳した新しい聖書

『聖書 聖書協会共同訳』
—2018年12月発行—

全国書店にて好評発売中
www.bible.or.jp
日本聖書協会



うきうき健康倶楽部
～肋骨エクササイズスタジオ～
TEL:080-3034-0011

人によし、社会によし、未来によし。

ミヨシ油脂株式会社

〒124-8510 東京都葛飾区堀切4-66-1
http://www.miyoshi-yushi.co.jp

KINSAN

夢に近づく
夢を産み出す...

近畿産業信用組合

総合コールセンター

0120-111-019

事務局便り

理事長 本田寿久

にわかに日本の大学も軍事研究に走っています。政府、企業、自衛隊だけではなく。大学は軍事研究に27億円の助成をもらい戦争目的に向かっています。5月10日、兵庫県芦屋神社で平和の集いがありました。山西康司宮司は代々神官の家系です。宮司は宗教者が自分たちの信心だけを唯一と考えるのではなく、他の宗教との和合によって真の平和な関係が構築できることを語られました。岩村義雄牧師も、対話、非武装、憲法9条が平和の鍵と語るスピーチをさせていただきました。他に自民党の議員は隣国から国を守るために威勢の良い発言をなさいました。会場は緊張しました。違和感がありました。日本の子どもたち、孫たちを戦場に行かせたいのかと不安を抱かせました。

日本は「和」の国と言われてきました。のぎへんの「イネ」＋「口」を昔から食べて、平和を愛してきたのです。隣国からの攻撃に備えて、軍備が必要だなどと言う大人は日本の将来を担う子どもたちの模範にはなれないでしょう。

やはり政治家の権勢によらず、宗教者こそが平和な社会、国、世界を築き上げる責任を委ねられていると認識し合う会合になりました。次回は8月30日です。

戦争がない平和を喜ぶたい



『神戸新聞』(2025年5月3日)



趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。

本会員は、一口2,400円/1年 賛助会員は、一口5,000円/1年

・郵便振替

口座 00900-8-58077

加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構

・三菱UFJ銀行

462(三宮支店) 普通 3169863

神戸国際支縁機構 岩村義雄

海外の災害緊急募金には書ける方は『国名』を書き添えてください。

(一社)神戸国際支縁機構

ボランティアや移住者募集中

農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。

被災地への支縁物資もお願いします。

年会費をお願いします。(月に200円)

会員(年度4月～翌3月)の皆さまには、季刊誌などをお送りします。

海外の孤児のために支縁金をお願いします。

「小さくされた人々のための福音」講座

毎月第3金曜日 午前10時～
神戸学生青年センター 本館1階

岩村義雄セミナー

毎月第4月曜日
午後6時半～
ミント神戸17階

編集後記

3年ぶりでしょうか、風雲児星野重門さん(32歳)と再会しました。大阪市南に位置する西成です。岩村は2005年、金徳化牧師から神学生に組織神学を教えるように頼まれた近くです。韓国人が校長のユニオン神学大学です。当時教子であったメンバーで現在は牧師をされている方もいます。釜ヶ崎にはドヤ街(ドヤは宿の反対)がありました。炊き出しボランティアに神戸国際支縁機構の大学生たちも通いました。その中の3人の大学生(山本智也、柴笠雄輝、中田悠一)たちが加わり、2011年3月、第1次東北ボランティア(現在161次)が処女雪を蹴りました。

大阪大学を卒業した星野さんは作家を目指していました。3年前が初対面です。どん底の地獄にまみれておられました。無気力でコミュニケーションができませんでした。今年、5月1日に再会しました。彼は変身しておられました。今や、文章を書くものの有名になることなど屑、あくたと思えるようになっておられました。今は西成の飛田新地の貧民窟に生活しながら、貧者、精神的障がい者、失業者から慕われている牧者でいらっしゃいます。

神戸市の西側に住む、「はだしのアンクル(おっさん)」と呼ばれる無冠の岩村も、彼も同じような生き方をしておられます。富とは無縁です。無名です。信者を増やすことなどぜんぜん考えていない無力な教会で満足しています。

故に、無二の友であります。



すっかり変わった星野重門さん(右)

救援金、維持会費のご協力を感謝します。(敬称略)

2025年4月20日～7月19日

530,152円

佐々木美和、岩村義雄、庄司慈明税理士事務所、近畿産業信用組合、ハート基金(コープこうべ災害緊急支援基金)、本田大輔、泉とも子、ミヨシ共栄株式会社、山本陽子(3)、堀川繁子、前川和弥&幸子(4)、沖浦宏隆(千葉県布良)(3)、村田義人、河内常男、村田充八、西堀元、千葉幸一(宮城県石巻市)(5)、坂井純人、小久保玲子、本田寿久(2)、丹野恵子(宮城県石巻市)、兵頭晴喜、西本玲子、糸井佳子、重元 勝、木村ふみ子(宮城県石巻市)(2)、左成和朗、東田寿啓、原 浩司、青木、日本バプテスト同盟西岡本キリスト教会、緒方眞喜代、久原満里子、日本キリスト教団芦屋三条教会、石井泰代、有田 貞一 & 美榮子(3)、東灘バプテスト教会、宮氏道夫、大島健二郎、土手ゆき子、土手 朋、日本開拓伝導団 京都教会、大槻紀夫、平松幸子、中山圭子、森 一郎、李 俊熙、高橋精巧、野田健二、黒田一美、北村恭男、廣森勝久 & 孝子、鄭 恵姫、中道澄春、平井一嘉、尾島淳義、大嶋善直、柳澤 豊、塗 光子、緒方眞喜代(熊本県相良)、池田裕子、辻本久夫、姫田光義、佐々木駿介、栗原 健(宮城県仙台)、土森靖佳、川井浩三、三原千草、(株)山崎製パン、伊藤直樹、伊藤ヨシ子(茨城県日光市)、矢野寛子、八尾和樹、阿部艶子、坪川佳史(石川県金沢市)、大島 修、大島敏子、永野由美子、小林万里子、小谷福哲(千葉県布良)、相浦恵子、(株)大塚製薬工場、羽柴 修、大西 孝、泉 晴代、神戸聖福教会、李敬淑、合同会社 Bless 泉 眞姫、オリーブの木キリスト教会、ミヨシ油脂(株)、福寿恵美、星野尚子、岩本久吉 & 眞子(福岡県松本)、川上義和、高島邦夫、藤原りつ子、高野國昭、日本基督教団神戸栄光教会、梅木博光(金光教多良木教会長)、全国キリスト教障がい者団体協議会、佐藤紀子(宮城県多賀城市)、杉山雅崇、吉俣正光、吉持志保、明石バプテストキリスト教会、川崎栄子、嶋田博信 & 礼子(千葉県布良)。

支縁を感謝します。

フードバンク関西、前川和弥&幸子から菓子(2)、本田寿久からおにぎり、佐藤金一郎 & 晴美(宮城県渡波)からオロナミン、本田 巧 & 敏子(宮城県石巻市)から海苔、木村勝 & 木村ふみ子(宮城県石巻市)から民芸具、山本 勝から野菜、糸井佳子から美術作品、阿部勝徳(宮城県石巻市)から缶コーヒー、清川和麿(宮城県石巻市渡波)から飲料、石巻地区森林組合からコーヒー、アンニョン・フェスティバルから弁当、徳留由美から昼食、友田謙吾(熊本県相良)から写真、農具等、緒方礼子(熊本県相良)から茶菓、なつめ保育園(熊本県相良)から茶菓、森口正美(熊本県相良)から苗運搬、松末地域コミュニティ協議会からコーヒー、梶原ミドリ(福岡県朝倉市松本)からカキドオシなど、梶原ミシミ(福岡県朝倉市松本)からしいたけ、平澤久紀からブリ、水谷弥生からガレットなど、北村恭男からタマネギ、ジャがいも、Henry Chang (Yangon) から朝食、Wai Myo kyaw (Yangon) から装身具など、Daw Nwe Zin Htike (Mandalay) から茶菓、ウィンゾー & マンニ(Mandalay) から昼食、WinNaing (Mandalay) から夕食、ゾンウェジンタイク (Mandalay) から昼食、無名(マングレー)から軽食、黒木征二(熊本県人吉市)からとんぼ治療代など、義毛良介 & かず子(熊本県熊本市)から菓子、本田寿久から昼食、全国キリスト教障がい者団体協議会からコピー、小谷登志江(千葉県布良)から飲料、小谷福哲 & 由喜枝(千葉県布良)から茶、嶋田礼子から装身具、小林万里子から根付け、横山恵子からチケット。